

泉州地域リハ連携会議

1. あいさつ
2. 代表者席自己紹介
3. 泉州回復期リハ病床群患者動向（10年経緯）
4. 事前アンケート結果報告
5. 討議
6. その他
 - 病院一覧等について

泉州圏域患者動向調査



調査期間：平成17年4月～平成27年3月

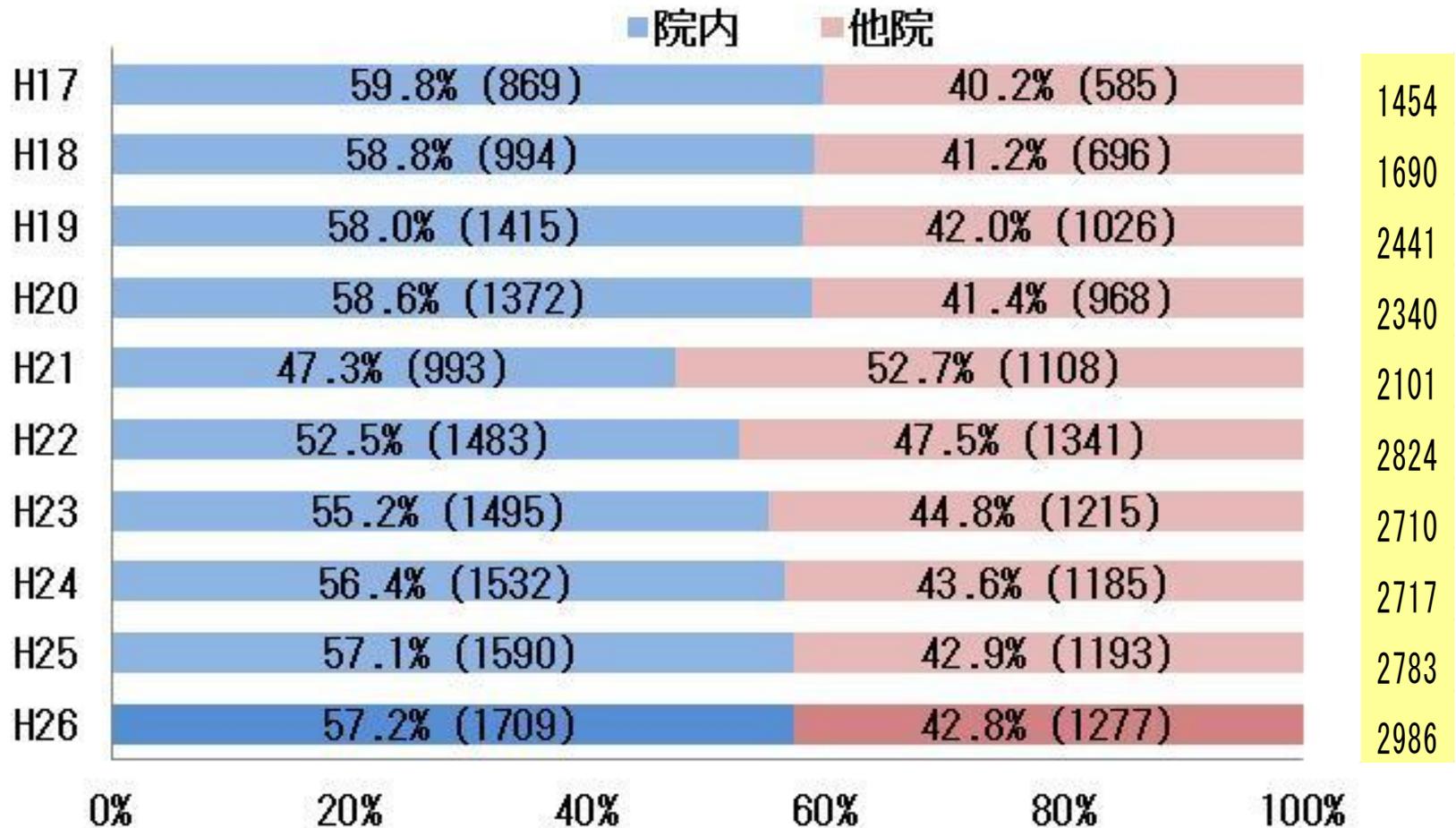
対象者：回復期リハ病棟を有する病院退棟者

調査方法：各病院毎に共通データベース入力、
支援センターにて一括集計

調査項目：疾患、発症日、紹介元、退院先、
ADL (FIM) etc.

総データ：24,647例 基本情報有効データ：24,189例 FIM有効データ：20,450例

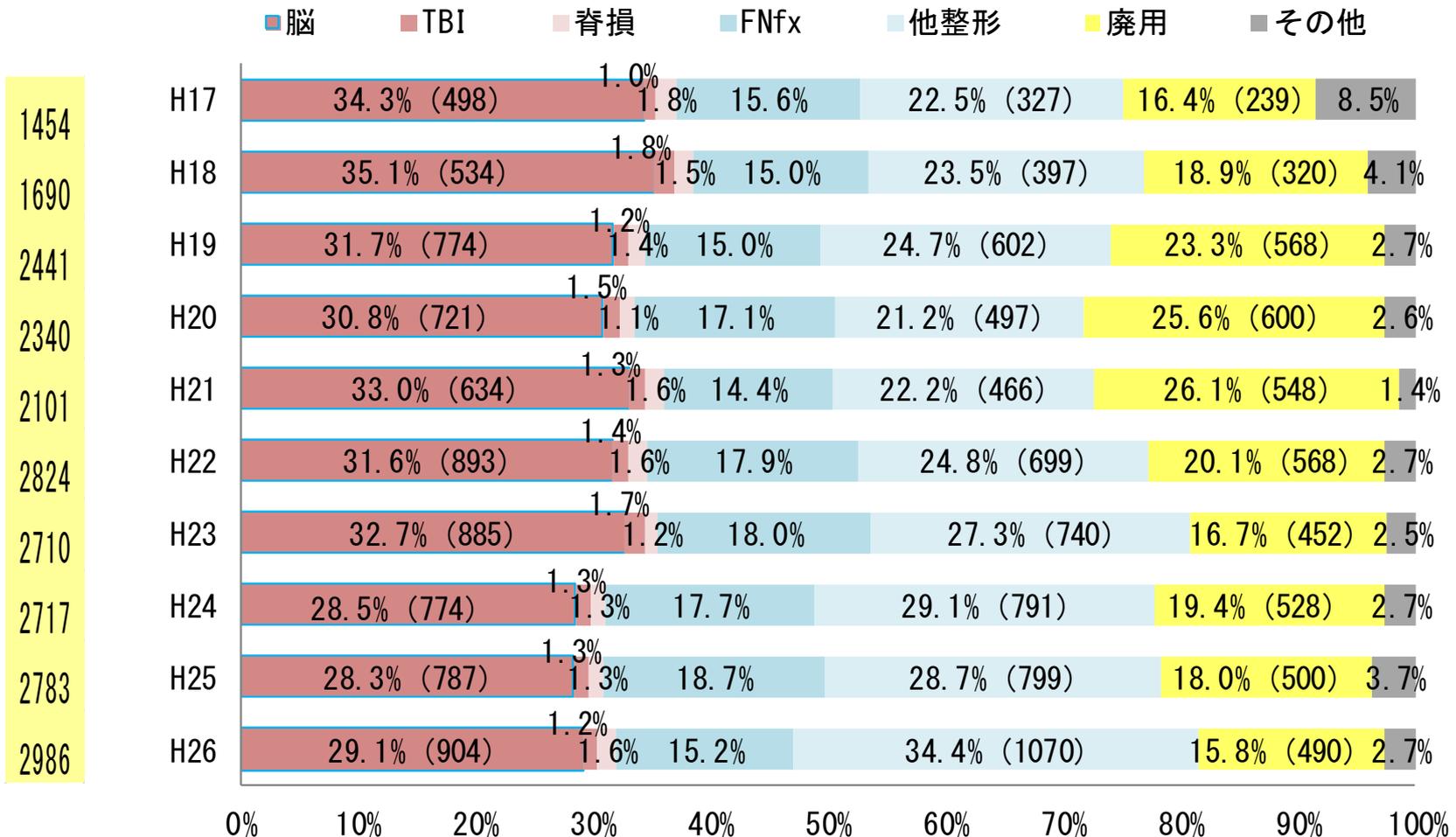
☆紹介元推移：院内外紹介比率



10年間で大きな変化なし (院内：院外 = 6 : 4)

全国平均 院内：院外 = 3 : 7

☆疾患比率推移：全患者

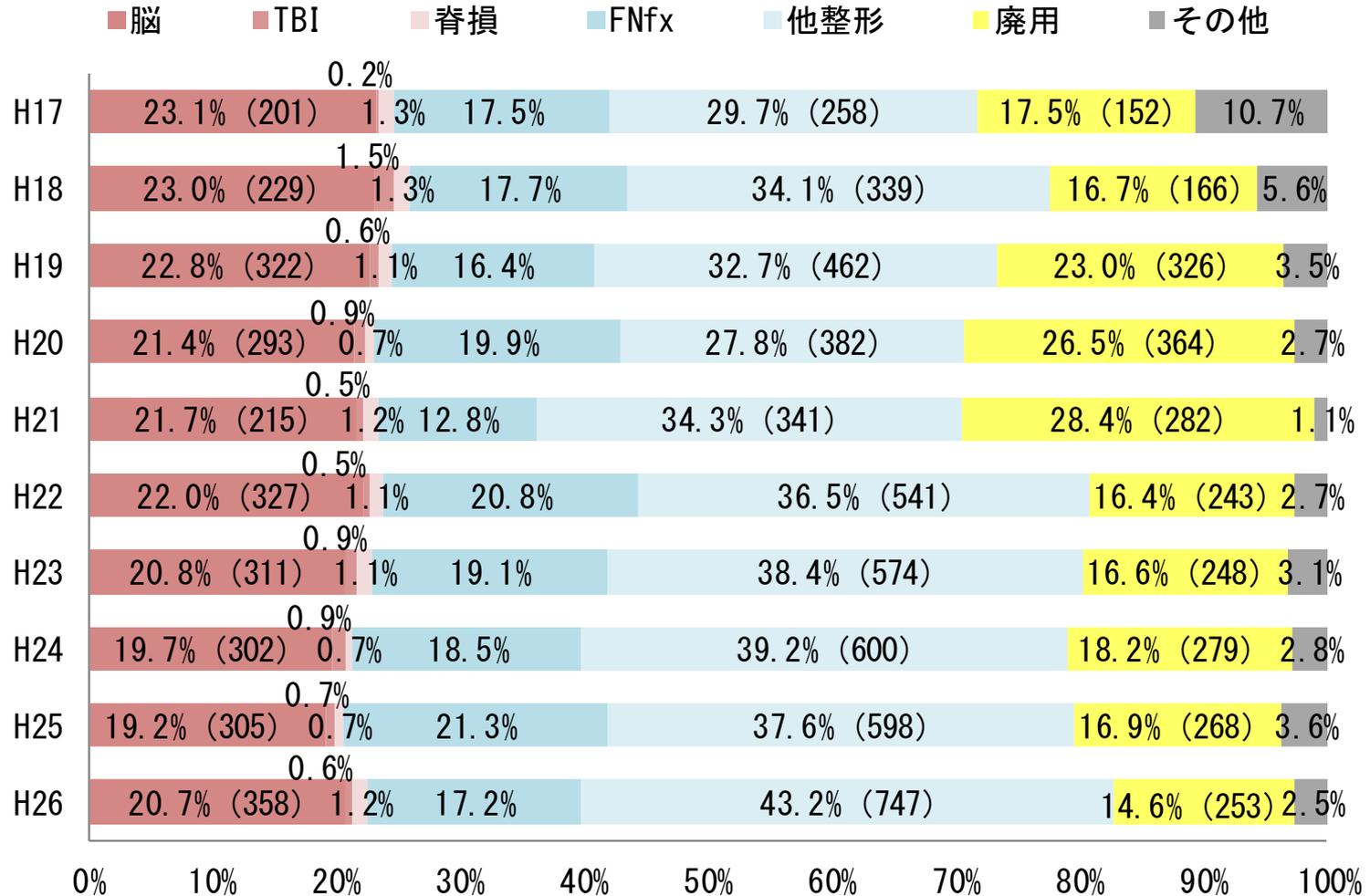


大腿骨頸部骨折以外の整形疾患が増加傾向
 廃用症候群は一時的に増加も近年減少傾向

全国平均

脳疾患が50%弱

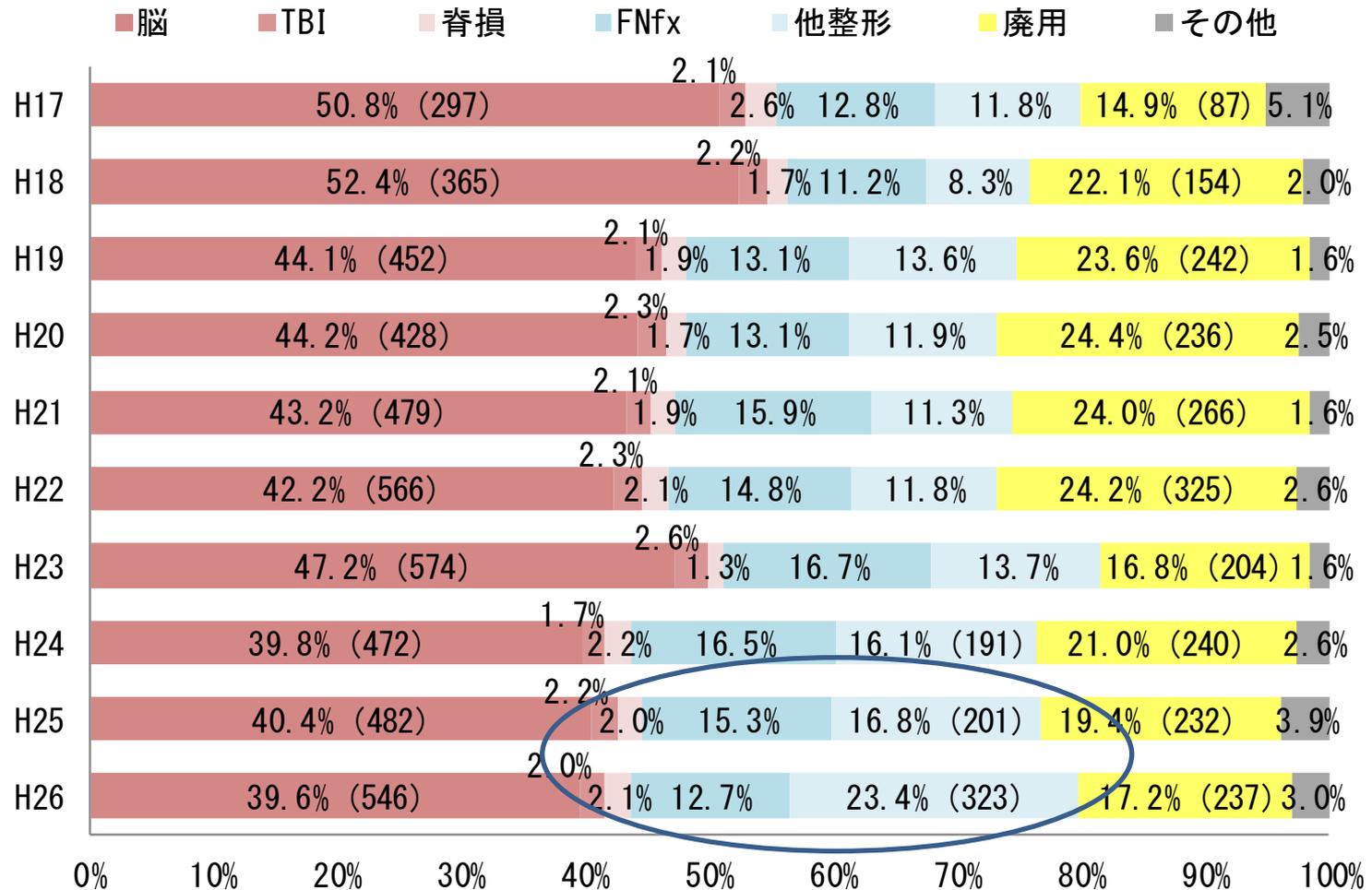
☆疾患比率推移：院内紹介



元々整形疾患が多い

大腿骨頸部骨折以外の整形疾患が増加傾向
 廃用症候群は一時的に増加も近年減少傾向

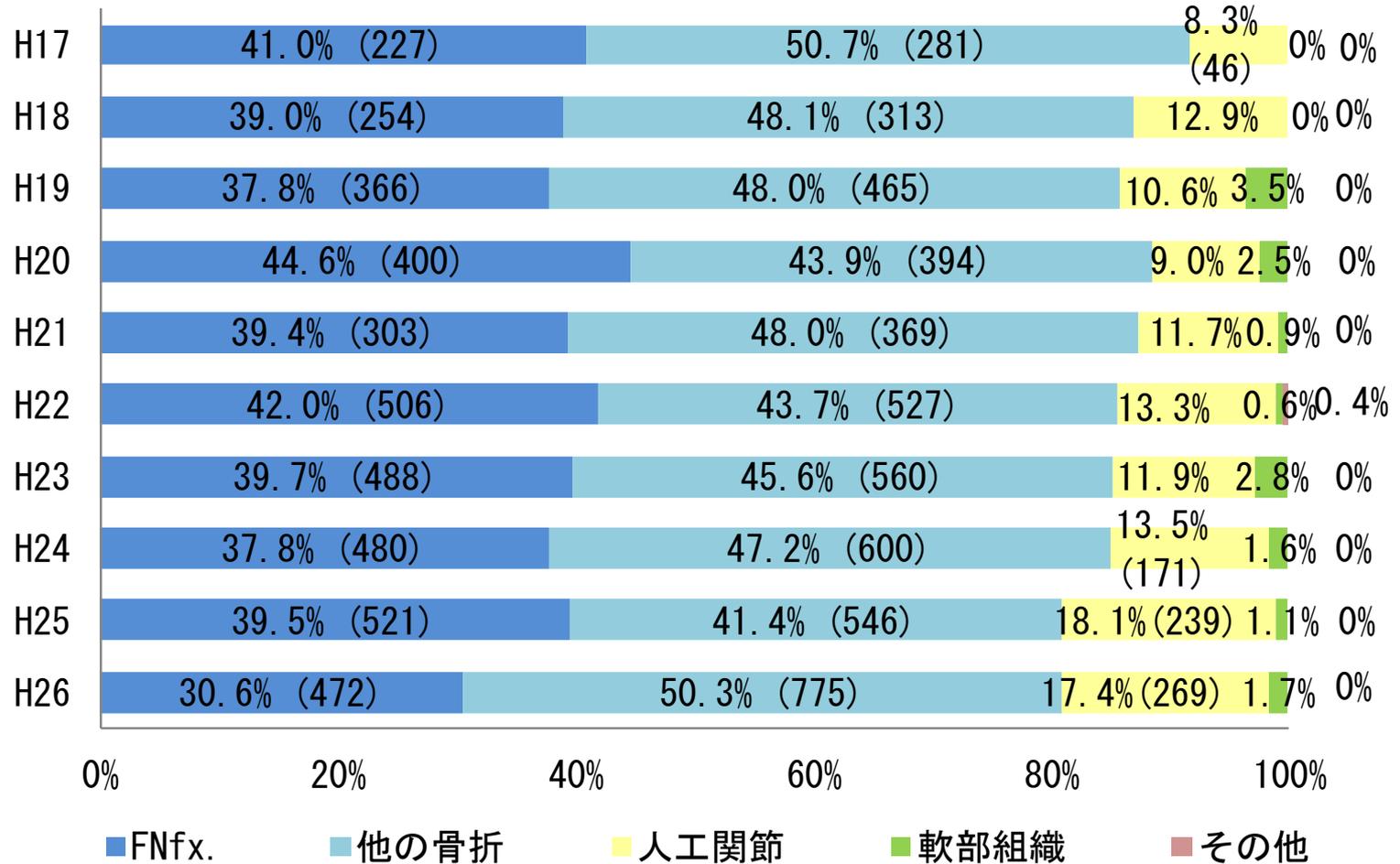
☆疾患比率推移：他院紹介



元々脳疾患が多いが、減少傾向

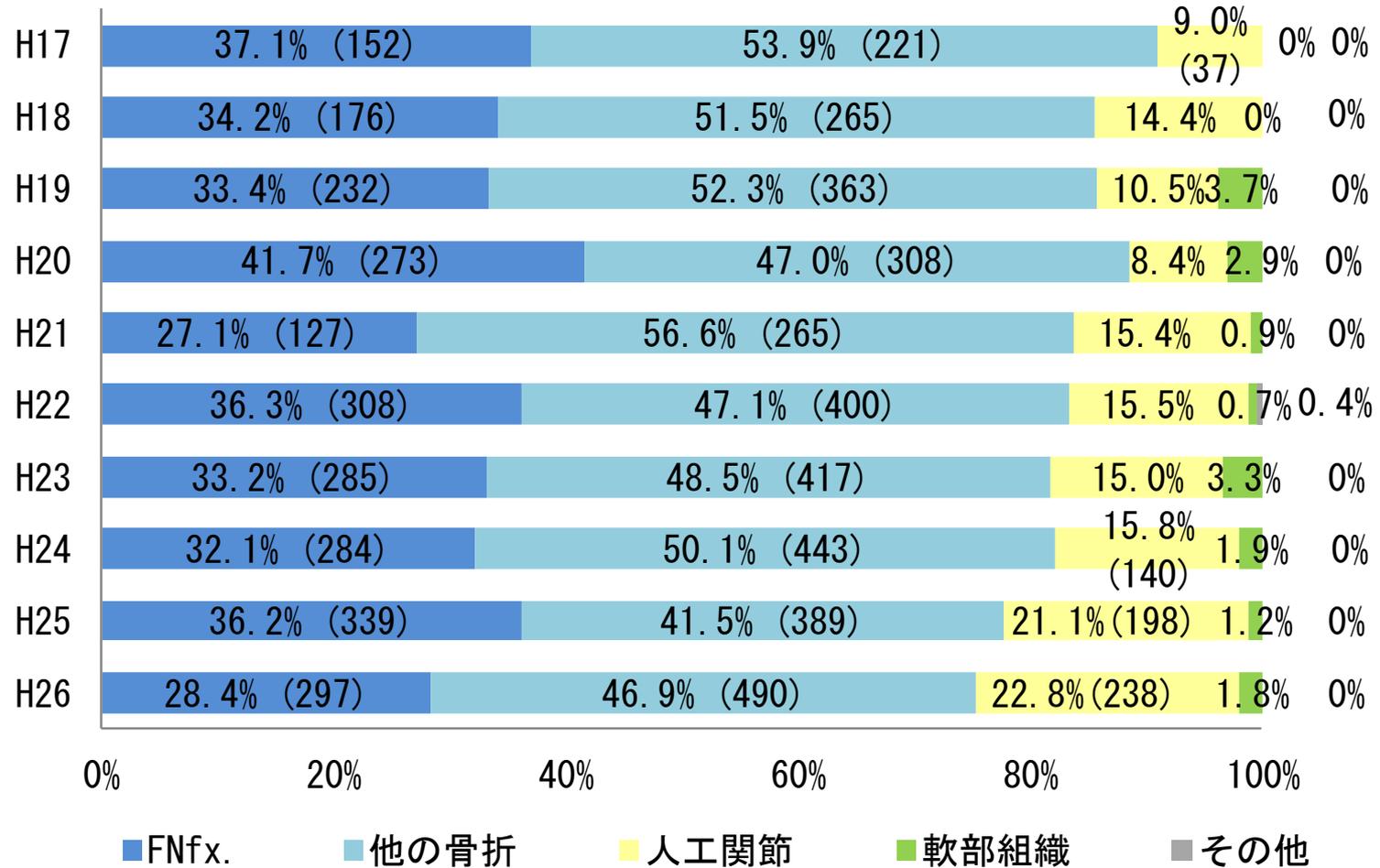
大腿骨頸部骨折以外の整形疾患が増加傾向
 廃用症候群は一時的に増加も近年減少傾向

☆整形疾患詳細：全体



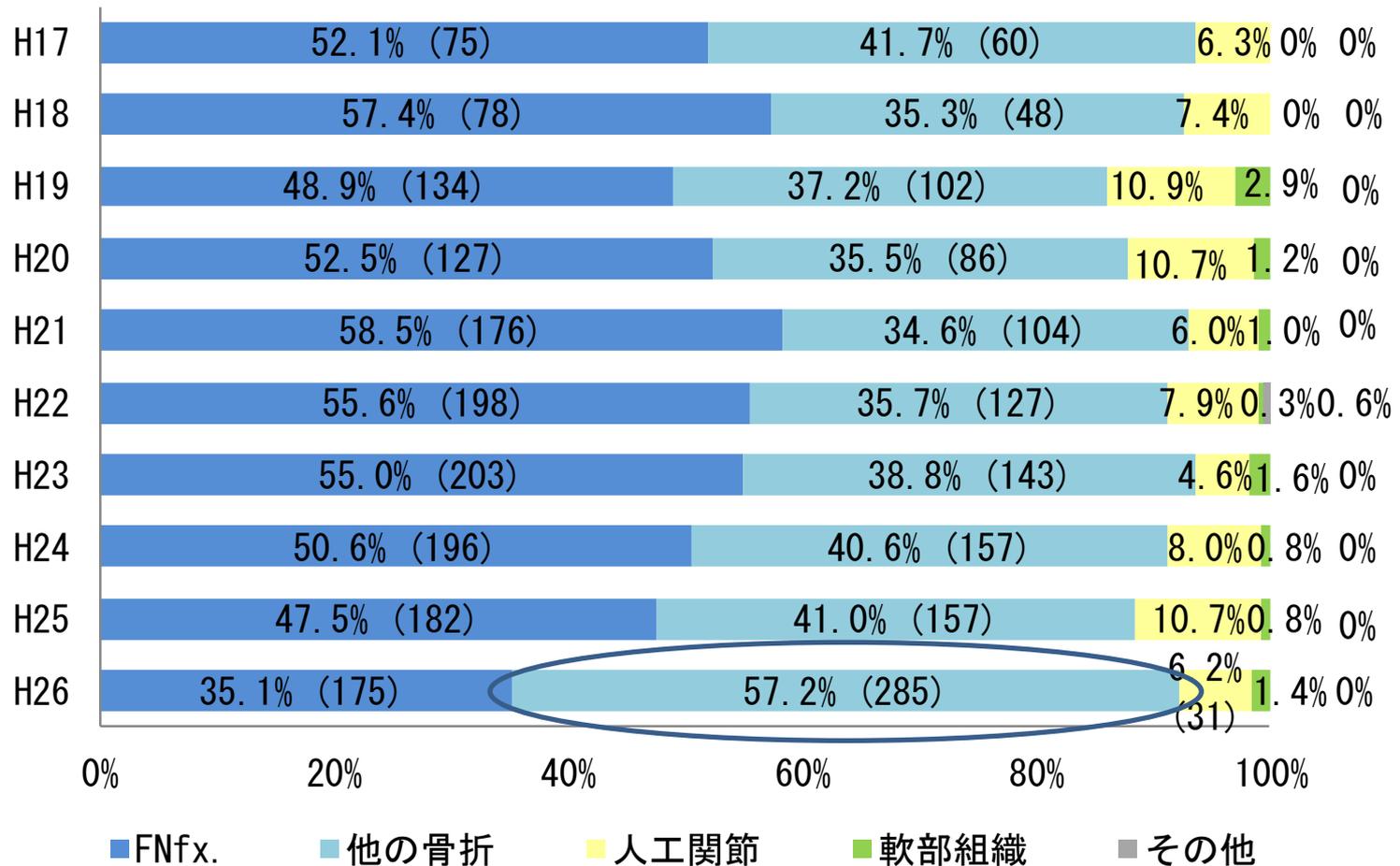
人工関節が増加傾向
昨年度は大腿骨頸部骨折減少

☆整形疾患詳細：院内紹介



人工関節が増加傾向
 昨年度は大腿骨頸部骨折減少

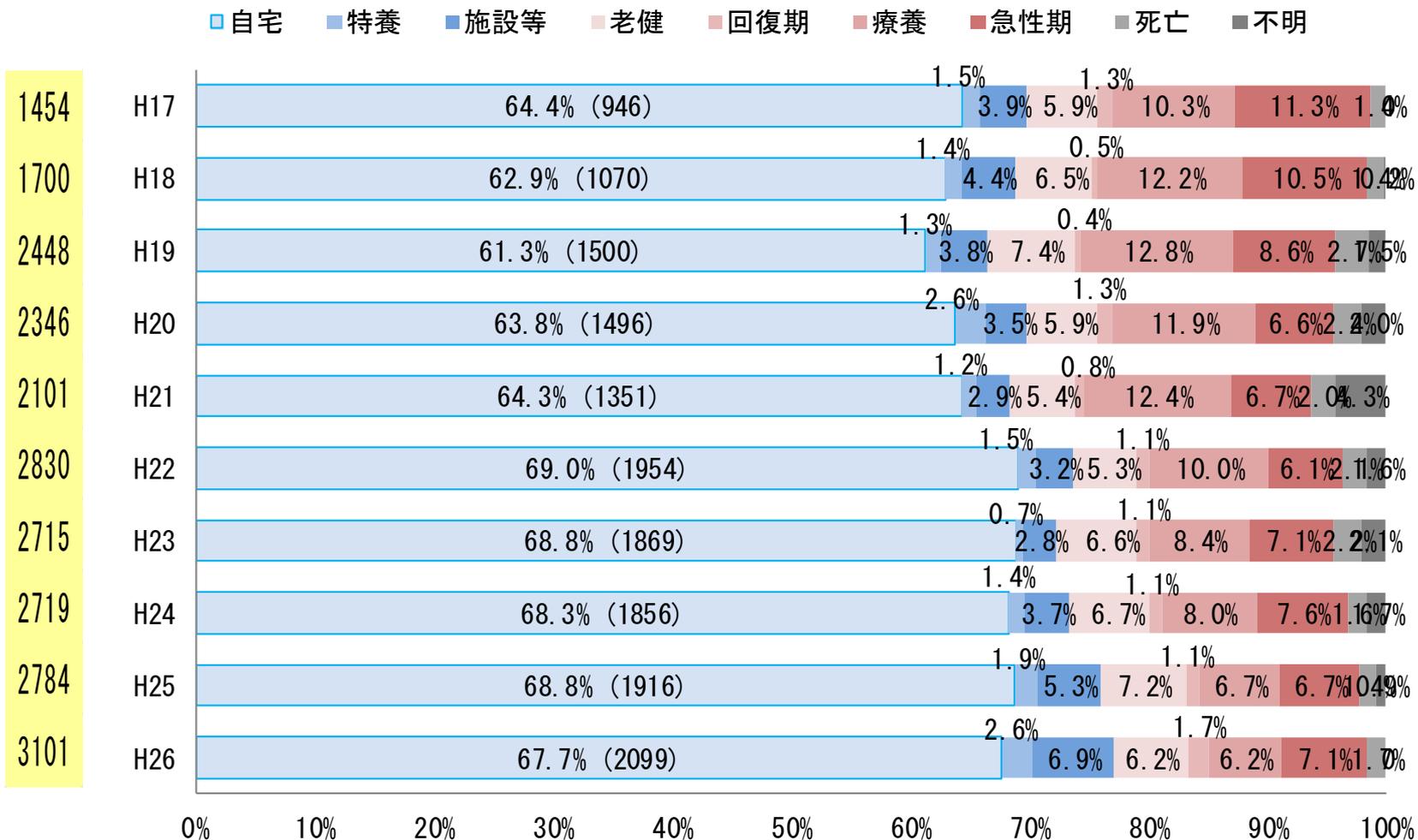
☆整形疾患詳細：他院紹介



人工関節は大きな増減なし

昨年度は大腿骨頸部骨折が激減し、それ以外の骨折が増加

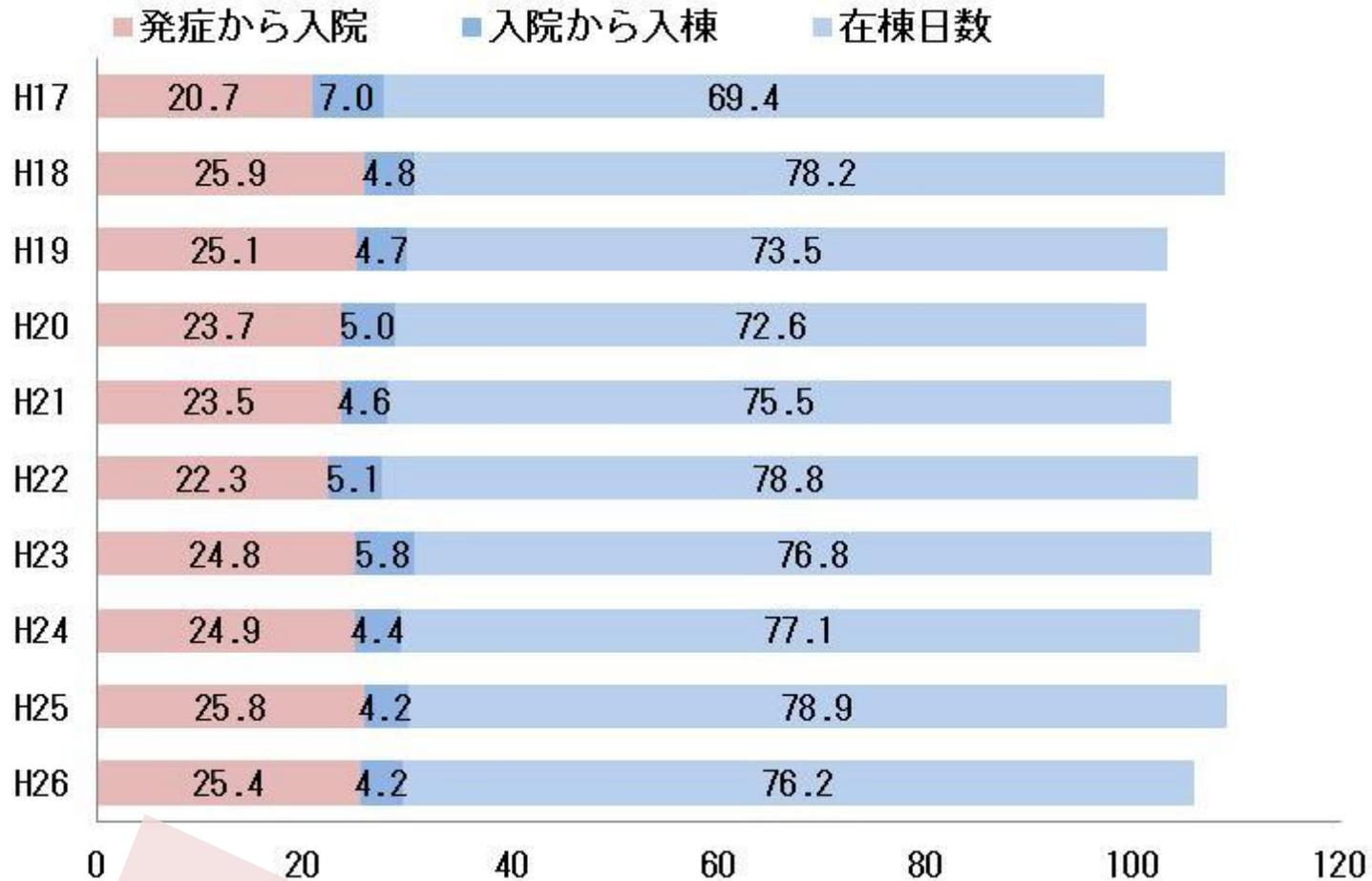
☆転帰推移



在宅率（自宅/施設とも）若干の向上傾向

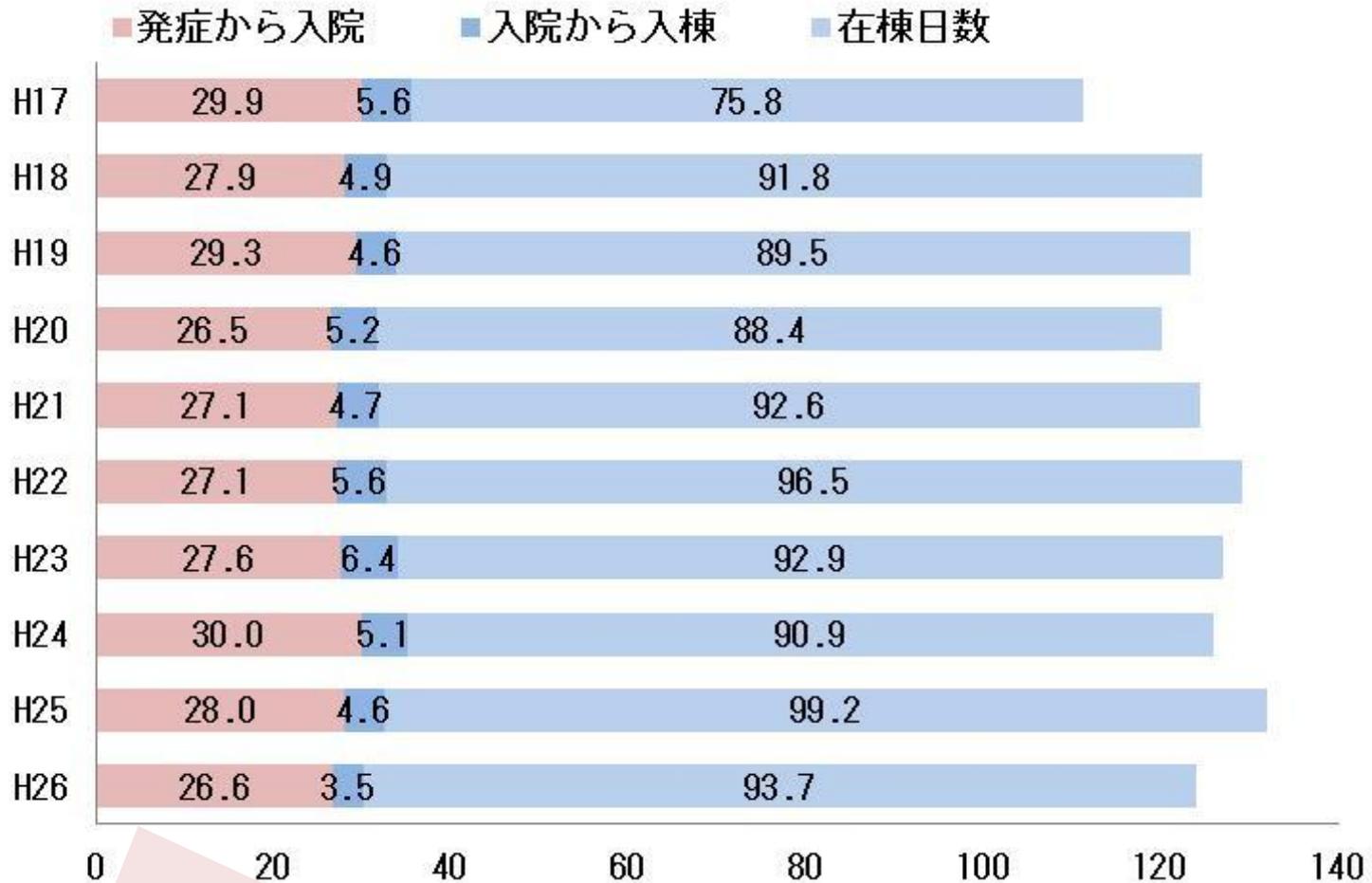
在宅率：全国平均（7割/8割）より若干低い

☆経過（日数）：他院紹介・全疾患



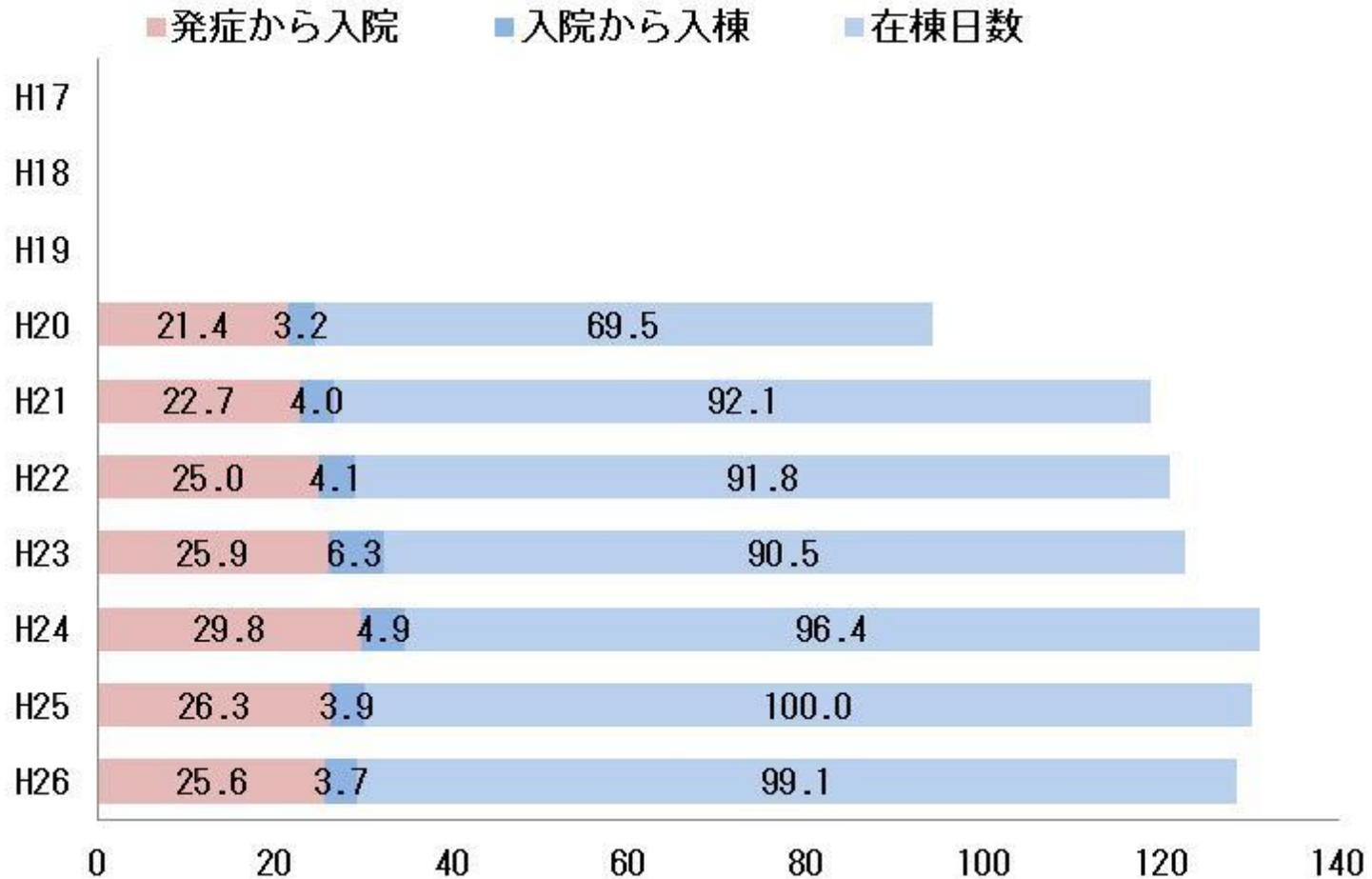
全国平均：26.7日（他院紹介に限らず）

☆経過（日数）：他院紹介・脳疾患のみ



全国平均：31.1日（他院紹介に限らず）

☆経過日数：脳パス使用者のみ



急性期からの転院日数について、脳パス不使用者より短いですが、短縮化はしていない。

☆FIM：全患者

(FIM利得・gain)改善 →



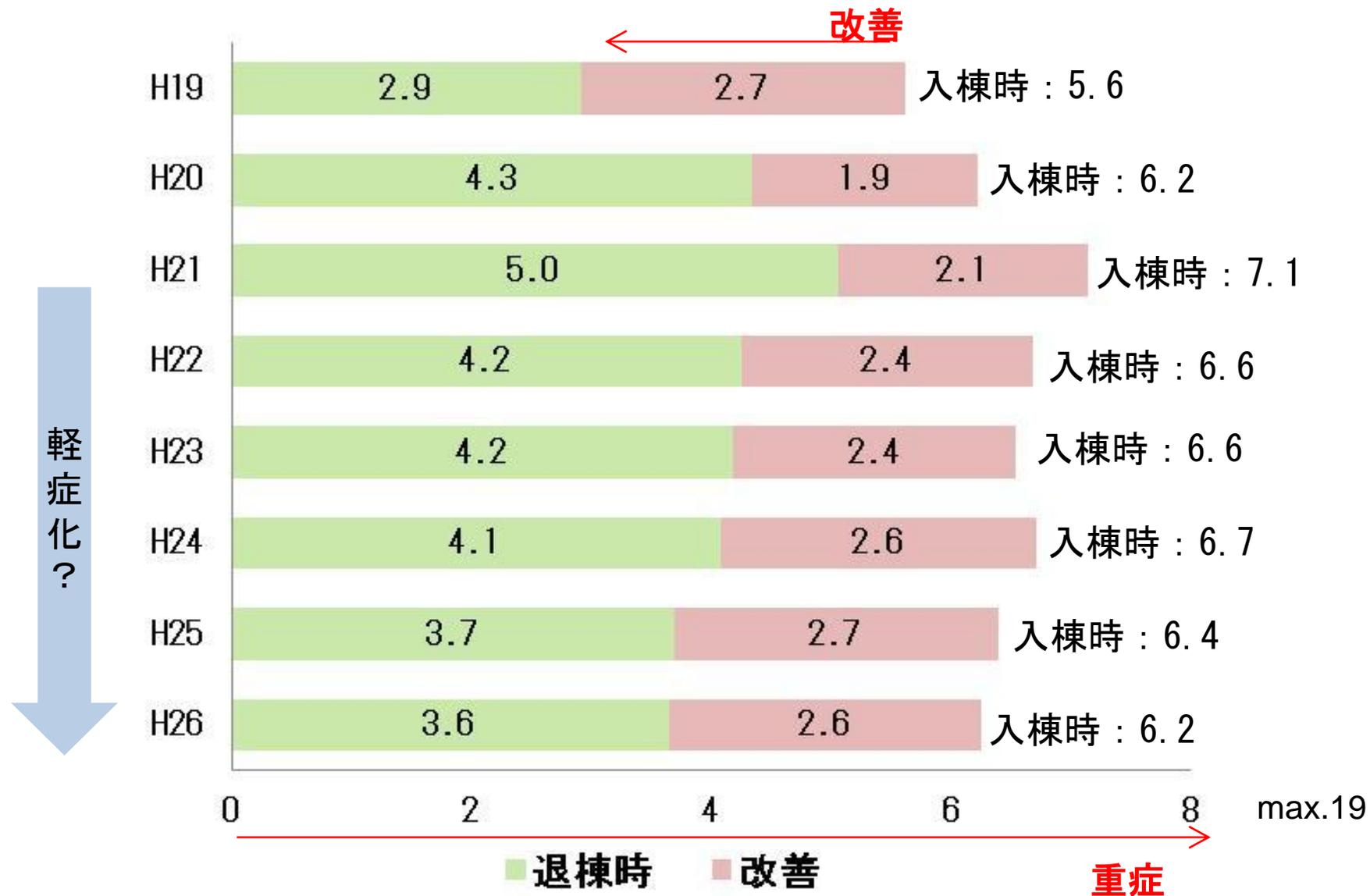
軽症化? →

全国平均

入棟時：73.3

改善：16.7 (退院時：90.0)

☆日常生活機能評価：全患者



全国平均

退院時：3.5

改善：3.2

入棟時：6.7

泉州地域リハ懇話会(H27.7.25.)

泉州地域リハ連携会議 事前アンケート結果

対象：泉州二次医療圏(全47施設)

急性期病床 : 有効回答 : 8 施設

回復期リハ病床 : 有効回答 : 12 施設

療養型病床 : 有効回答 : 21 施設

↑
前回14病院

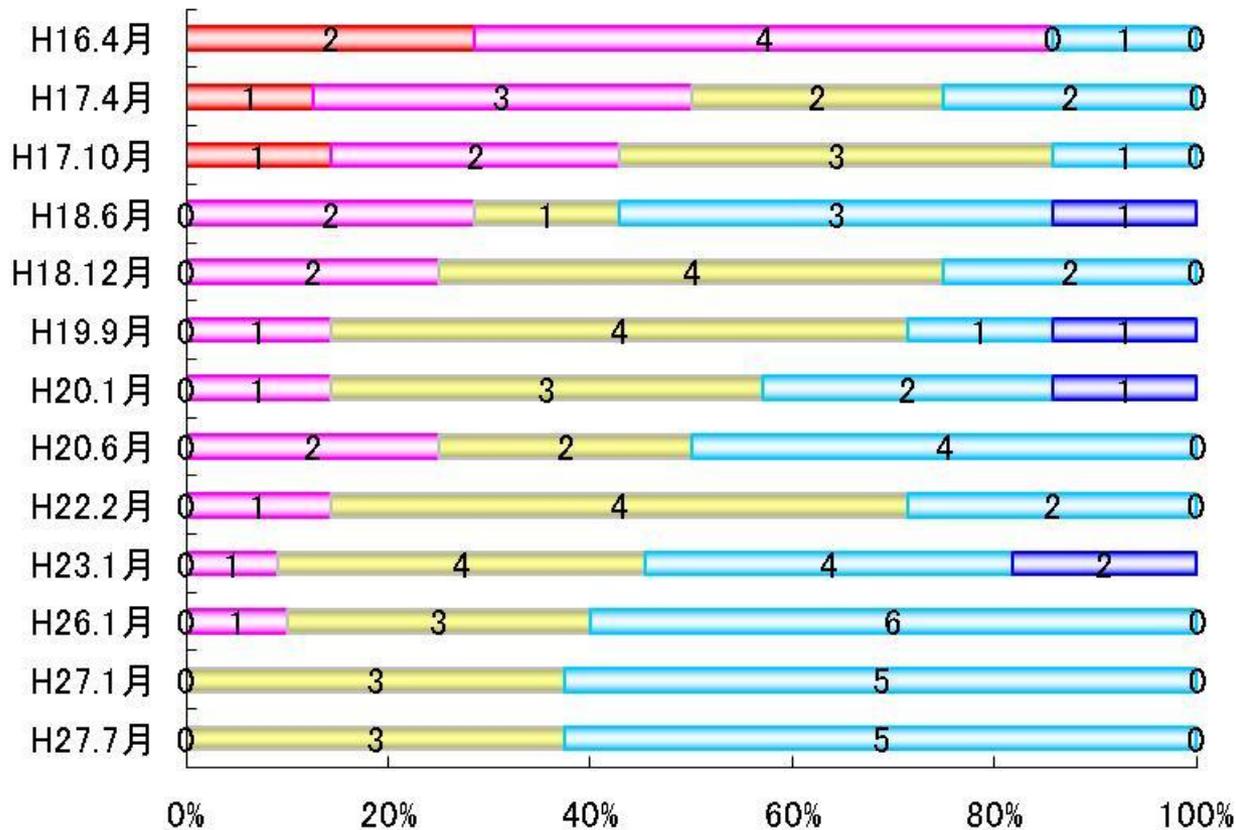
時期：平成27年7月

☆急性期病院アンケート：リハ目的での転院

リハ目的での、患者の転院で困る印象はありますか？

(転院先探しの困難性)

■ 常に困っている ■ よく困る ■ どちらとも言えない ■ あまり困らない ■ 困っていない



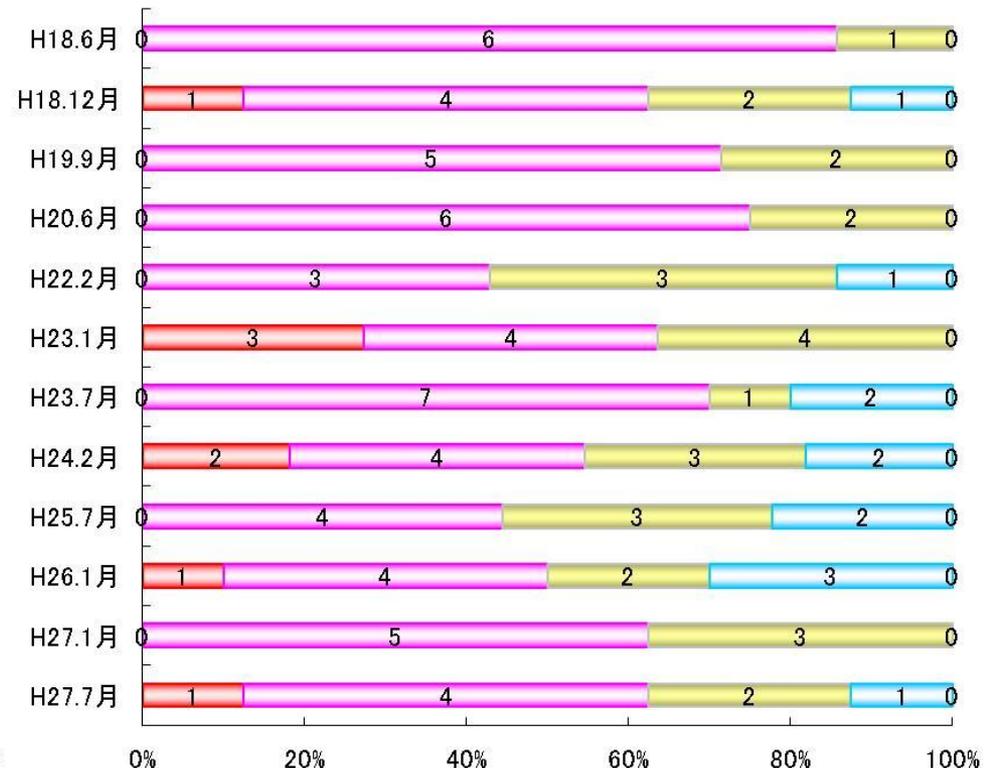
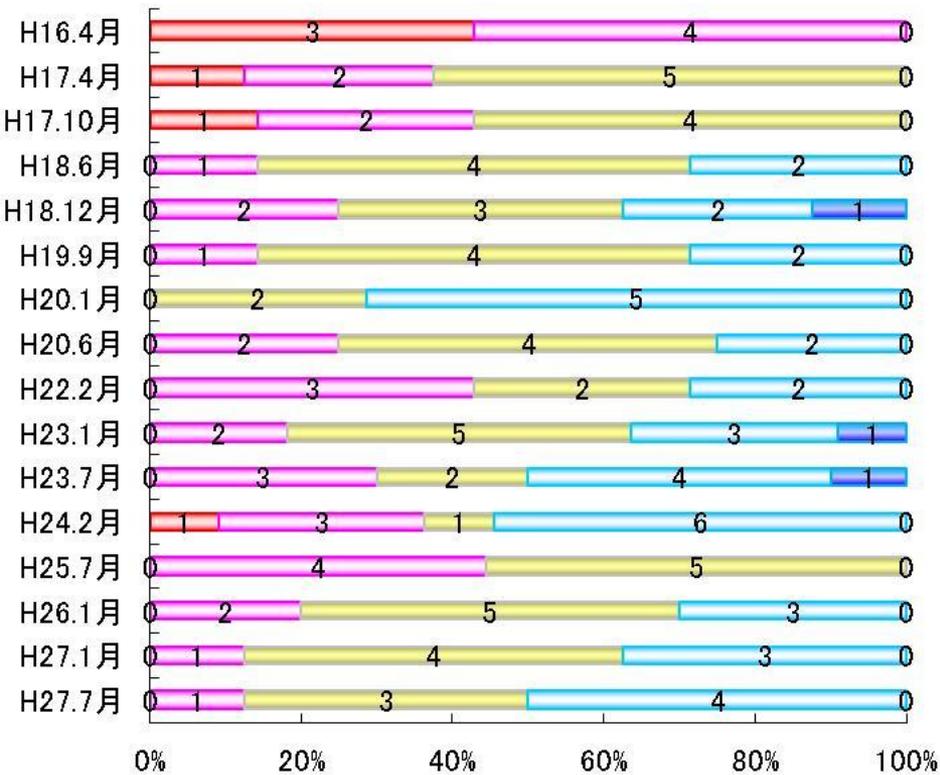
リハ目的での転院では困らない!!

☆急性期病院アンケート：転院待機期間

回復期病院への転院に要する時間は
長いと感じますか？

療養病床への転院に要する時間は
長いと感じますか？

■ 常を感じる
 ■ よく感じる
 ■ どちらとも言えない
 ■ あまり感じない
 ■ 感じない

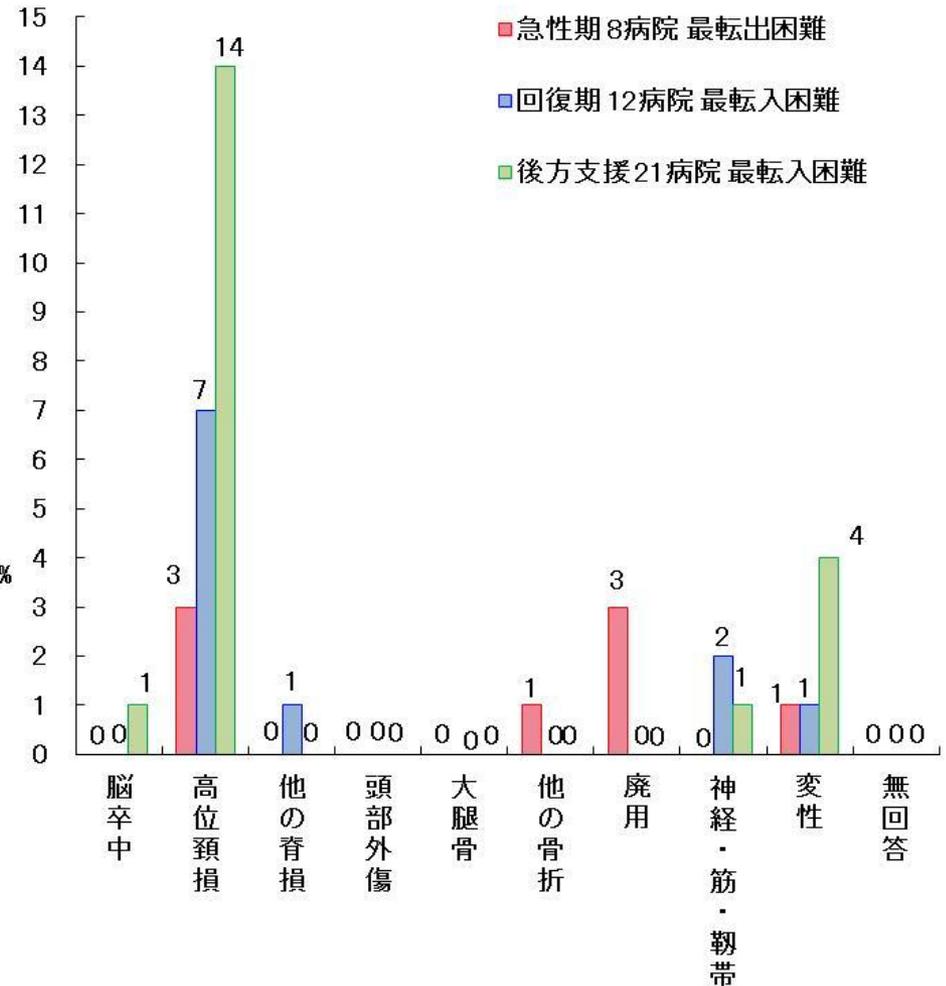
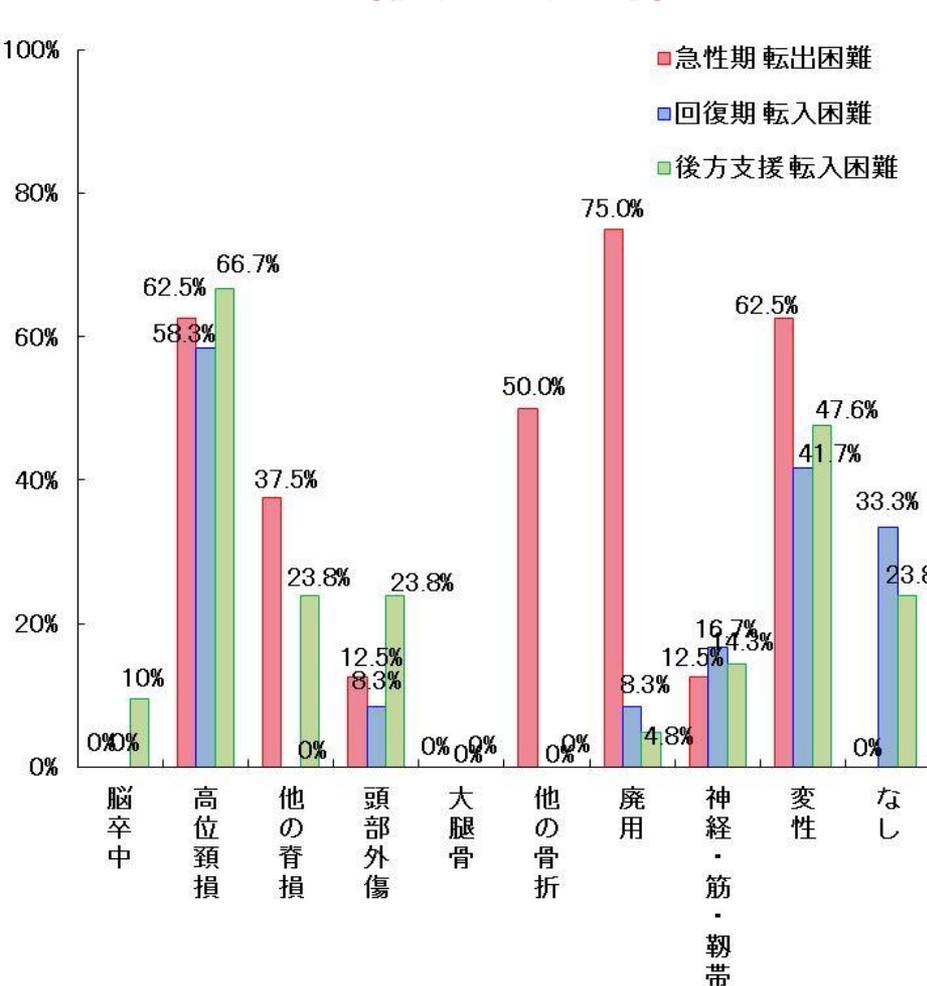


療養病床への転院には時間がかかっている印象

★全病院アンケート：転出入困難な疾患

転出・転入困難な疾患は？
(複数選択可)

最も転出・転入困難な疾患は？

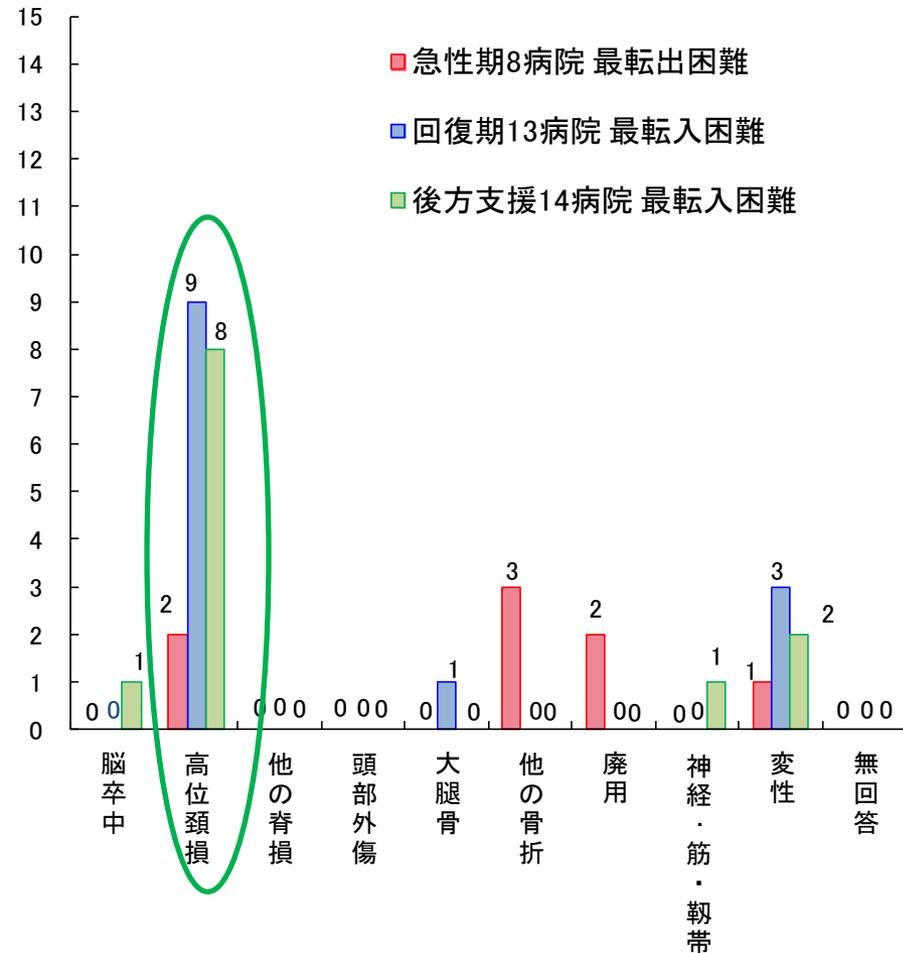
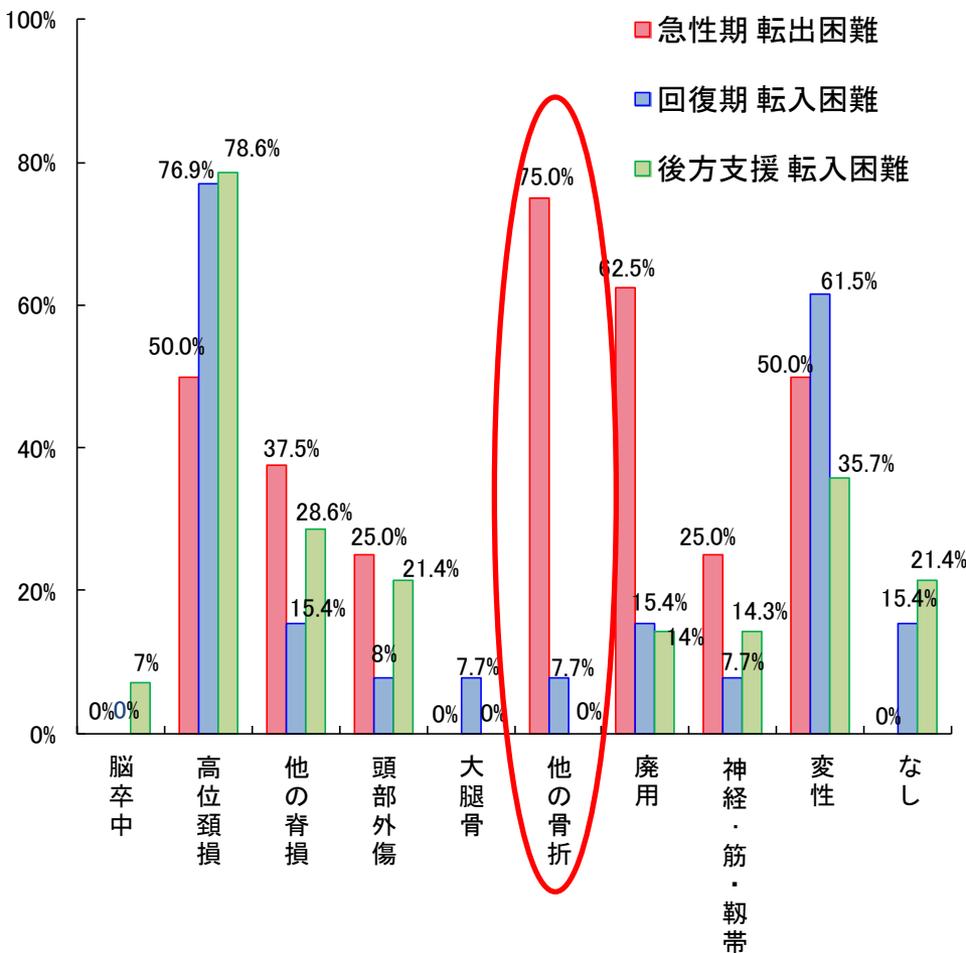


廃用が転出困難・高位頸損が圧倒的に転入困難

全病院アンケート：転出入困難な疾患

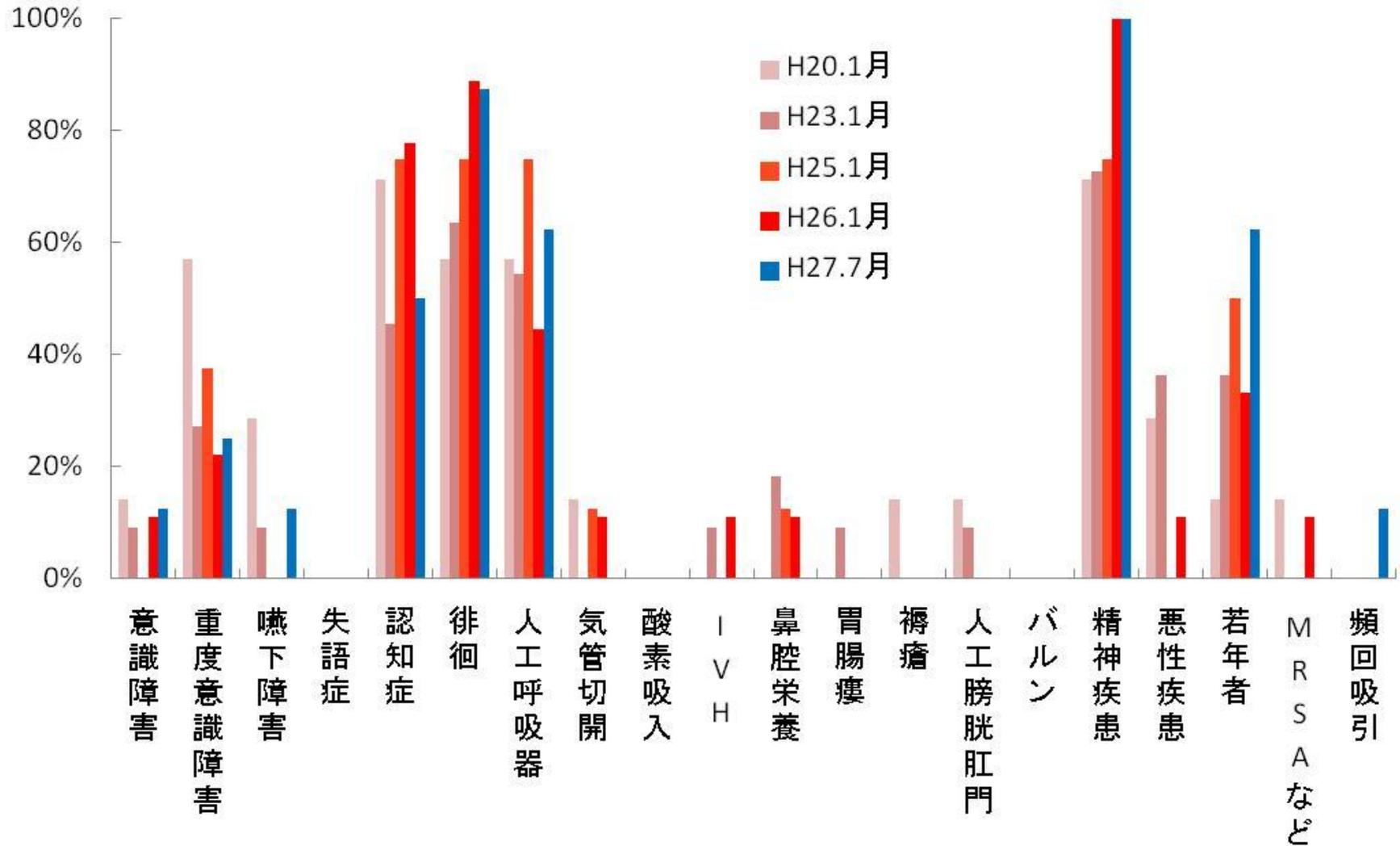
転出・転入困難な疾患は？
(複数選択可)

最も転出・転入困難な疾患は？



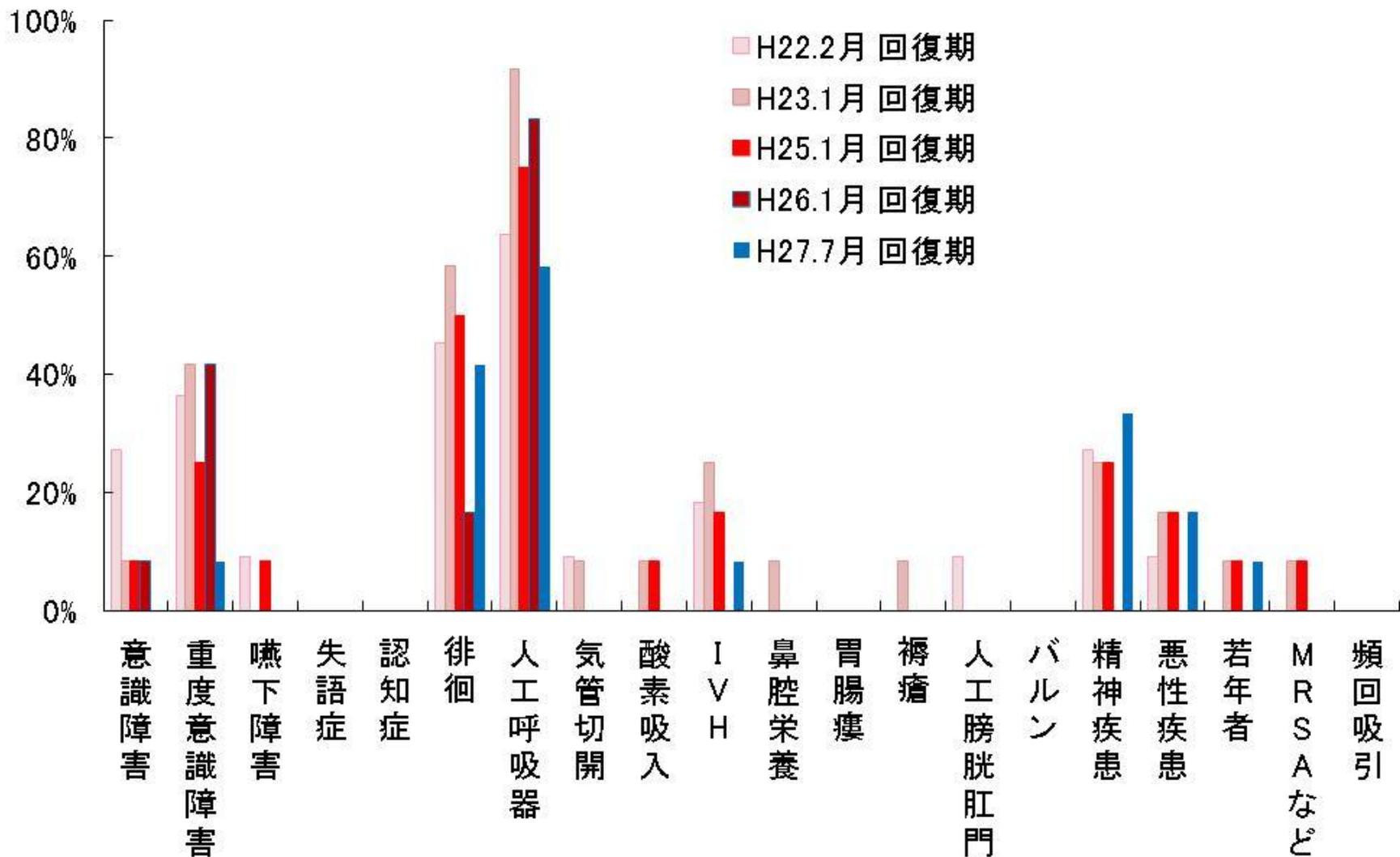
他の骨折が転出困難・高位頸損が転入困難

☆急性期病院アンケート：転出阻害因子



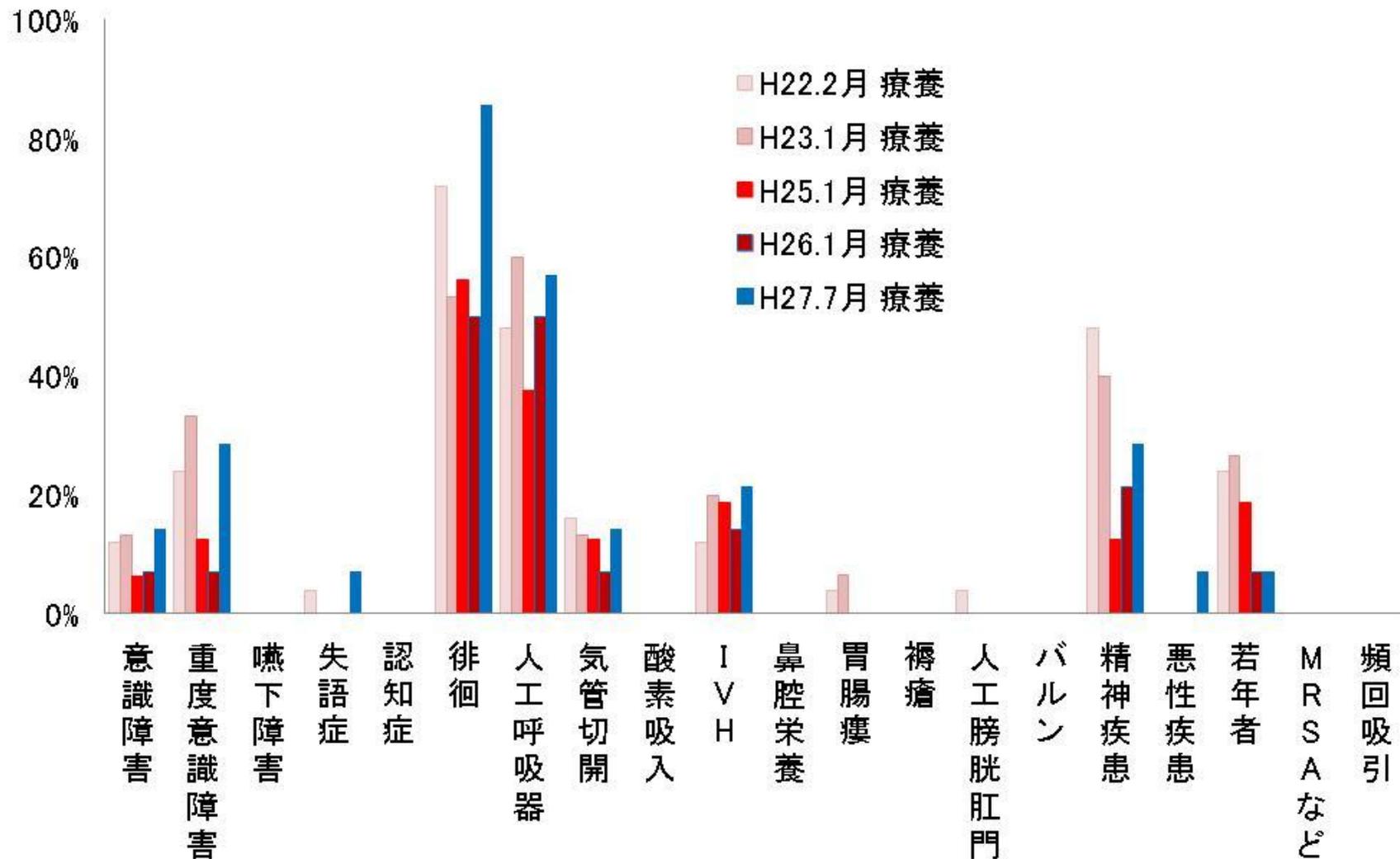
精神疾患が最も阻害

★回復期病院アンケート：転入阻害因子(受入困難)



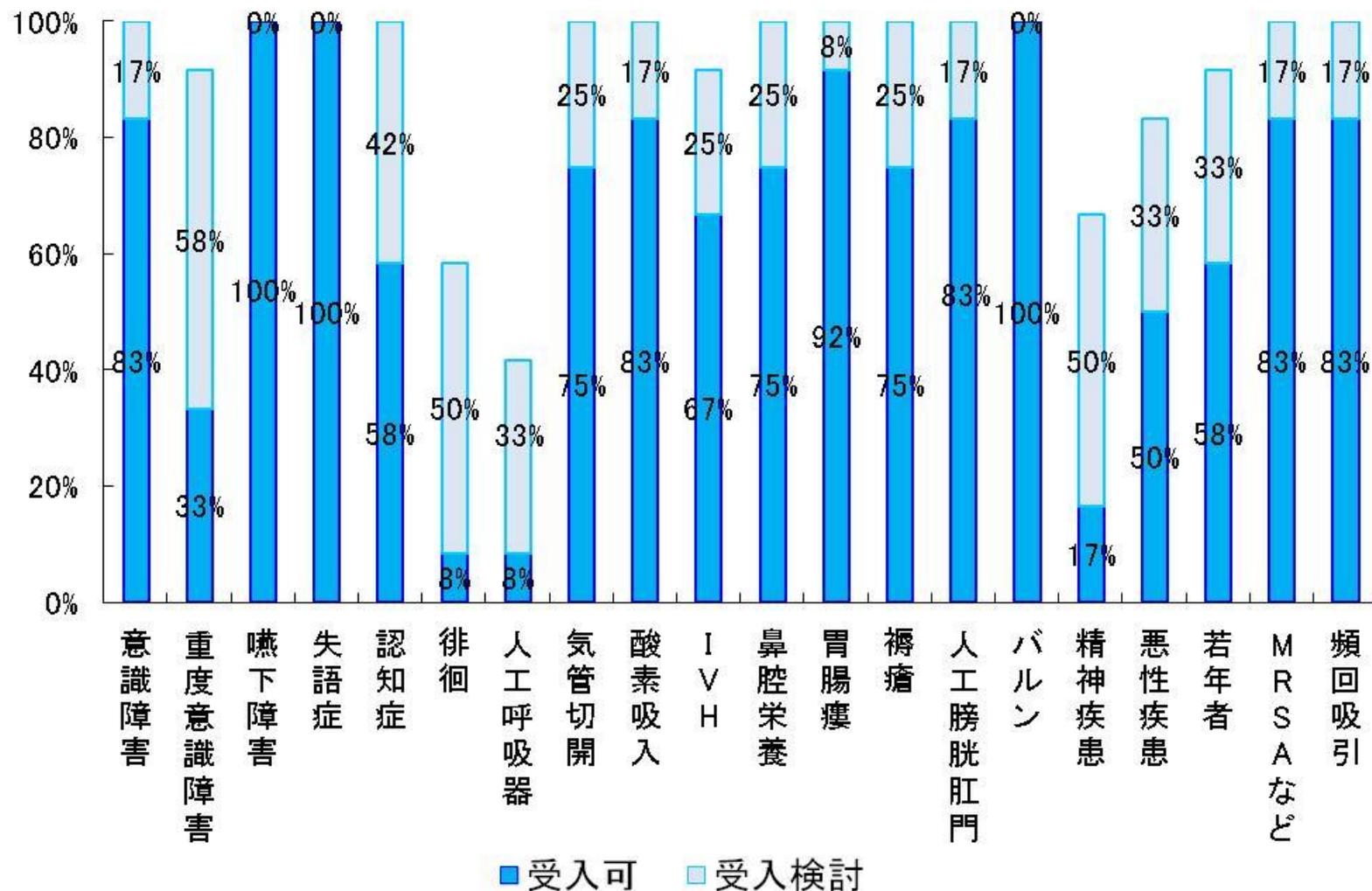
人工呼吸器が最も阻害・精神疾患は意外に低い

★療養型病院アンケート：転入阻害因子(受入困難)



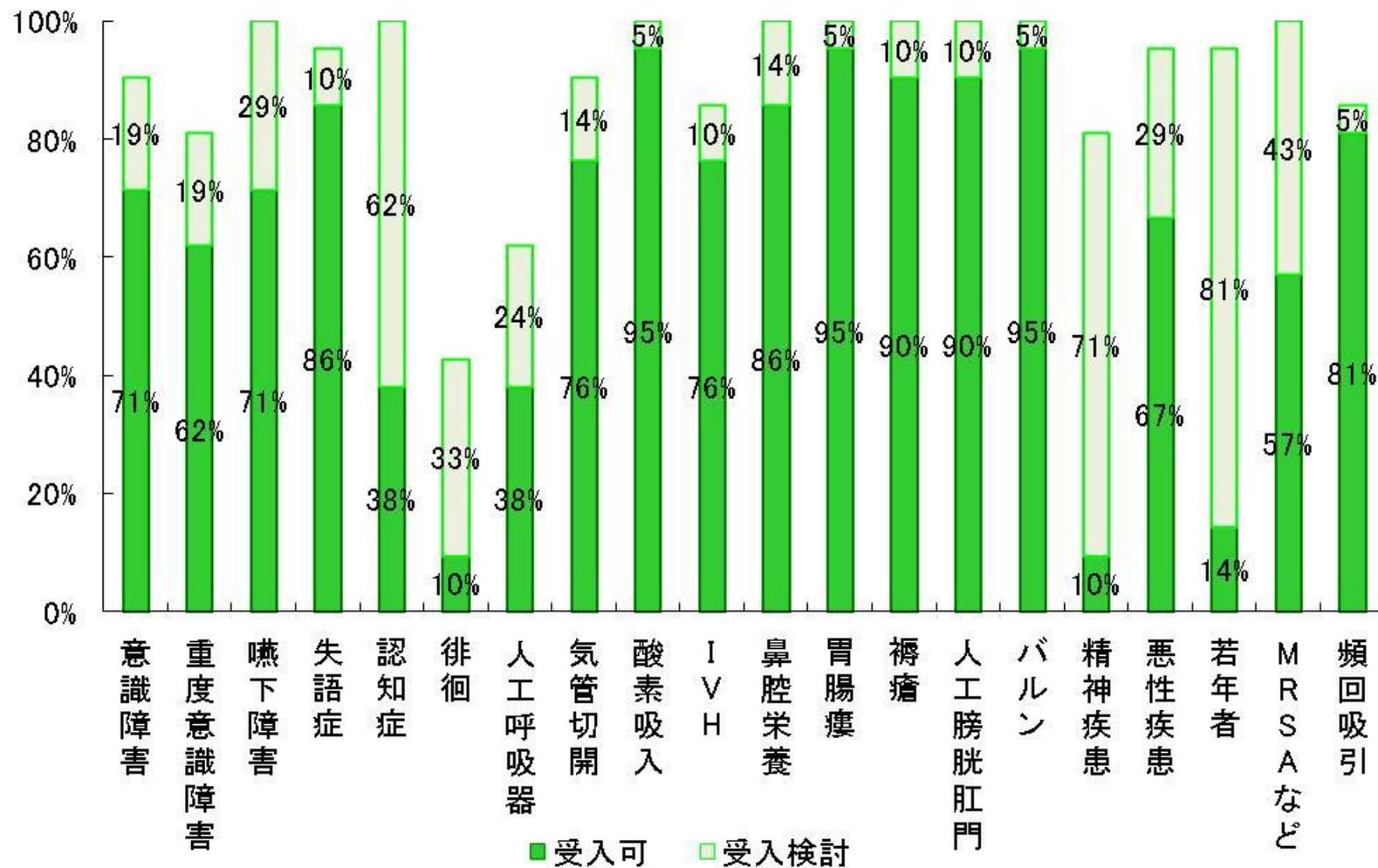
今回は徘徊が最も阻害・精神疾患は意外に低い

★回復期病院アンケート：転入阻害因子の受入



人工呼吸器は受入困難・精神疾患は意外に検討可

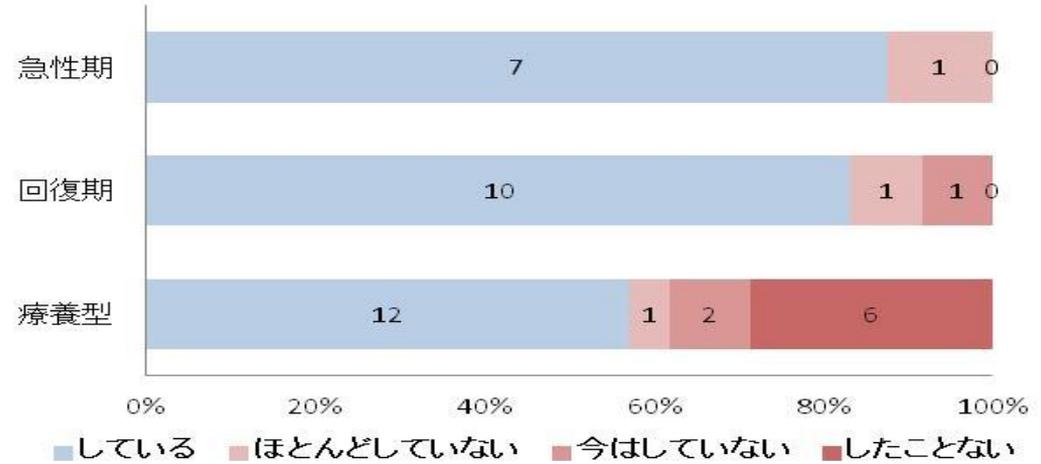
★療養型病院アンケート：転入阻害因子の受入



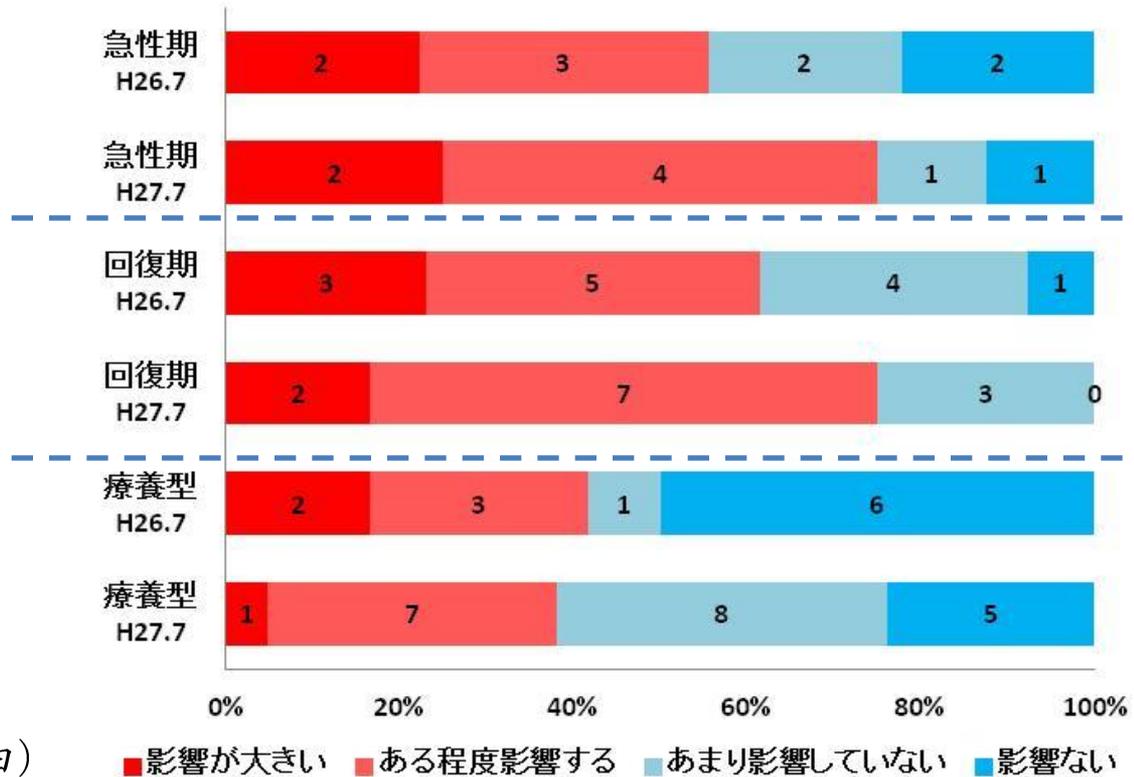
今回は徘徊が回復期より低い・精神疾患は検討可
徘徊者を見守るマンパワーの問題？

★全病院アンケート： 廃用症候群

「廃用症候群リハ料」を
算定していますか？



「廃用症候群リハ料」の
厳格化は影響していますか？

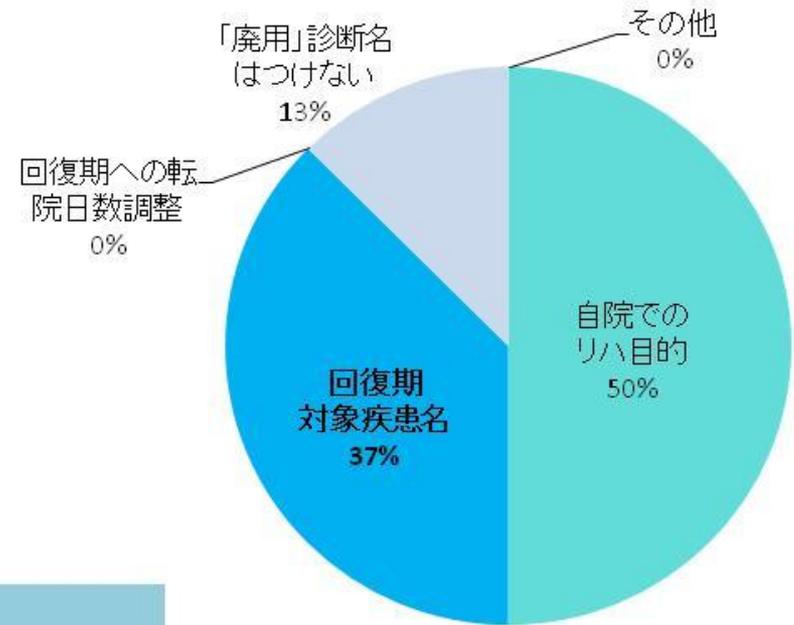


急性期・回復期で影響強まる
減点増加か？
廃用評価票？

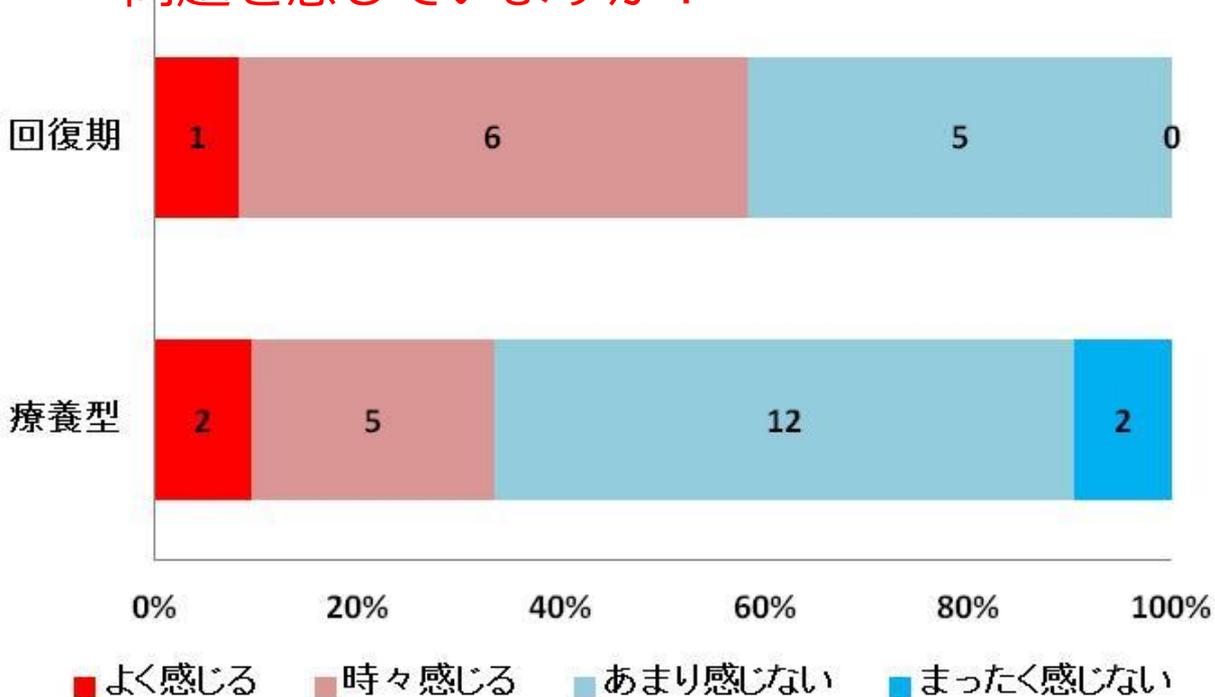
(原疾患コード、他リハ算定不可理由)

★全病院アンケート： 廃用症候群

その「診断名（廃用症候群）」
をつけた理由は？（急性期）

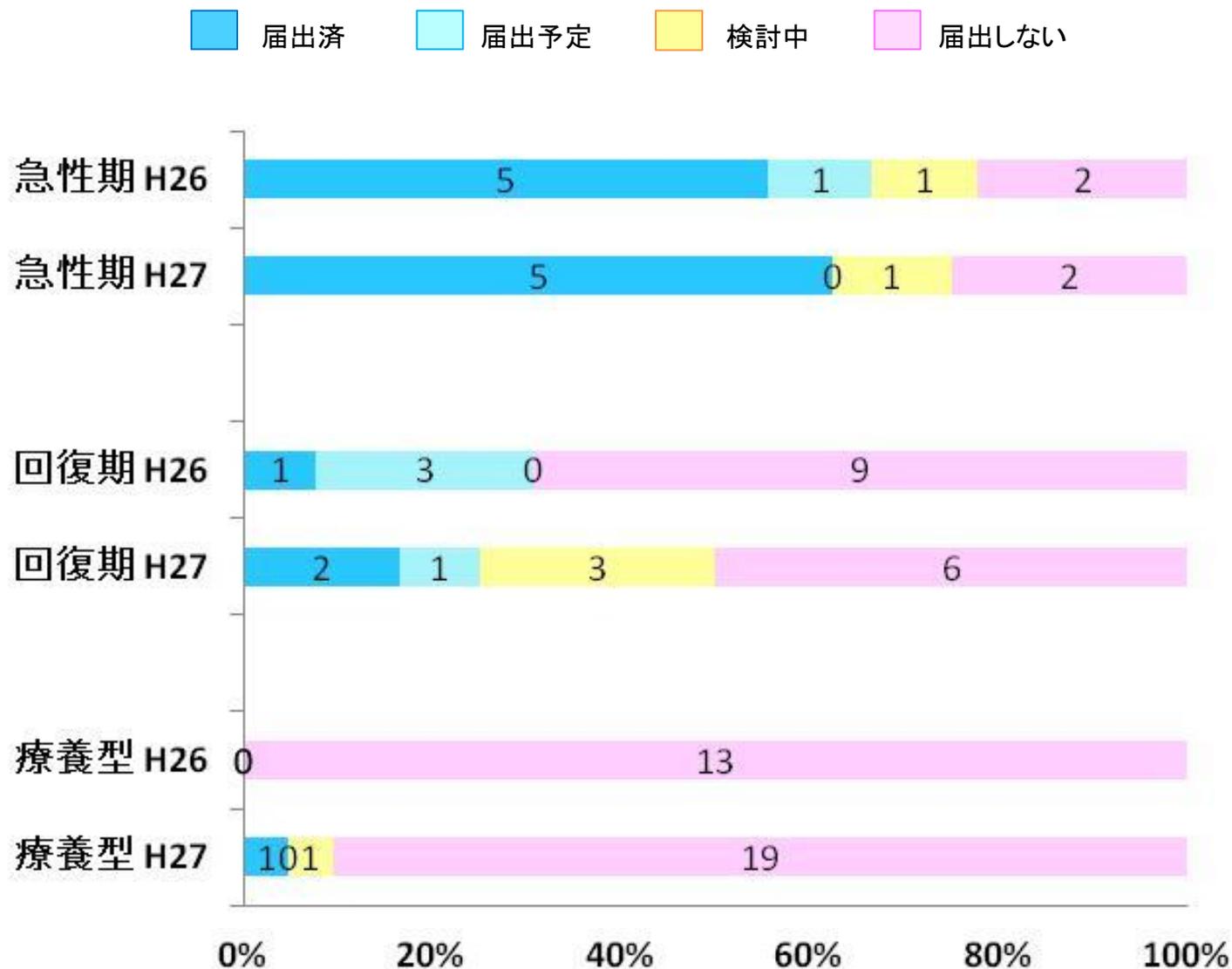


「廃用症候群」の紹介について
問題を感じていますか？



★全病院アンケート：がんリハ施設基準

「がんのリハビリテーション」の施設基準は取得していますか？



増田

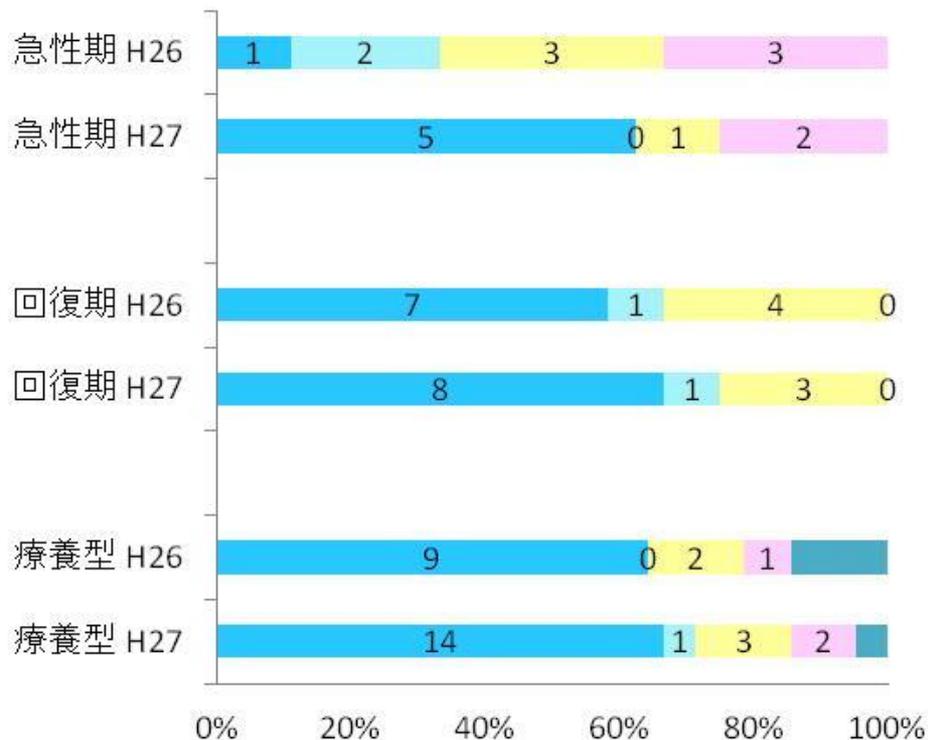
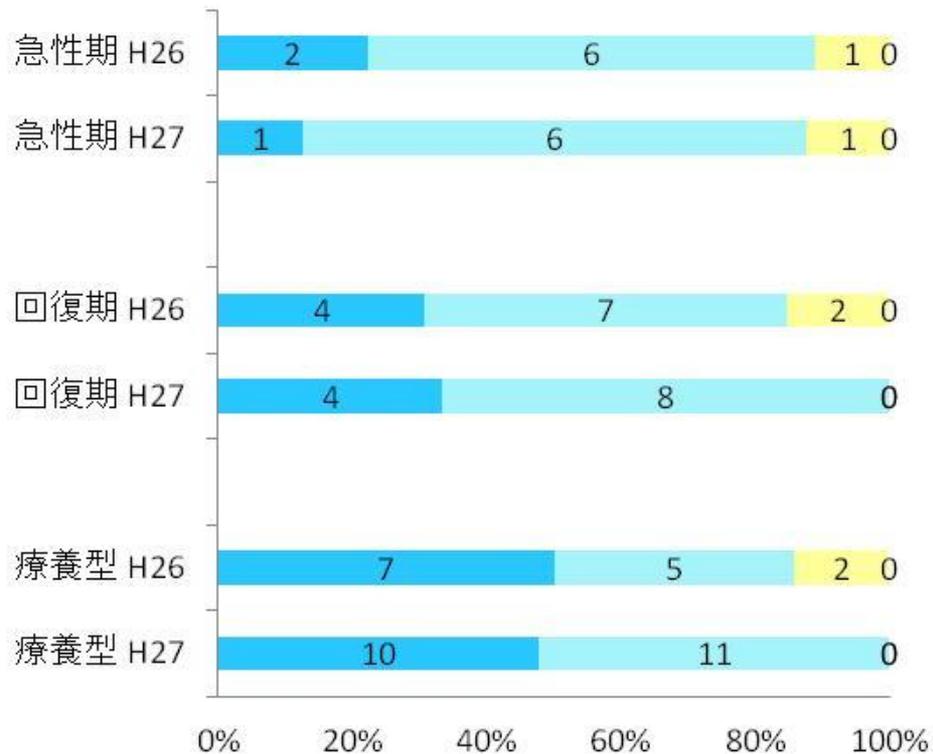
★全病院アンケート：ジェネリック

ジェネリック医薬品（後発）への
移行について

抗血小板剤プレタールの
ジェネリック化について

■ かなり進行
 ■ ある程度移行中
 ■ あまり進行なし
 ■ 全く移行なし

■ 既に後発化
 ■ 積極的
 ■ 検討中
 ■ 予定なし
 ■ 元々使用なし



ジェネリック化進行